

サンタレン [Santarém] - アクセシブルプラン

について



サンタレン [Santarém] - アクセシブルプラン

リバテージョ[Ribatejo]の中心には、馬や牛の牧畜とリンクした偉大な伝統を持つ地域があります。サンタレンは高原にある街で、タグス川[Tejo]の流れや周囲を囲む氾濫原の素晴らしい眺めを楽しめます。一番の見どころは、城の敷地内にあるポルトス・ド・ソル庭園[Jardim das Portas do Sol]です。ここが私たちがお勧めするルートのスタート地点になります。

地図を見ながらお勧めルート歩く

リバテージョ[Ribatejo]の中心には、馬や牛の牧畜とリンクした偉大な伝統を持つ地域があります。サンタレンは高原にある街で、タグス川[Tejo]の流れや周囲を囲む氾濫原の素晴らしい眺めを楽しめます。一番の見どころは、城の敷地内にある [ポルトス・ド・ソル庭園\[Jardim das Portas do Sol\]](#) です。ここが私たちがお勧めするルートのスタート地点になります。



Jardim das Portas do Sol - Santarém © Shutterstock | StockPhotosArt

ルートは10月5日通り[Avenida 5 de Outubro]に沿って続き、[時計博物館\[Núcleo Museológico do Tempo\]](#)(5)のあるカベッサスの塔[Torre das Cabaças]を通り過ぎます。この博物館は内部が非常に狭く、最上階に行くには階段を上る必要があるため、体の不自由な方は見学が難しくなっています。もう少し先には、サン・ジョアン・デ・アルポロ教会[Igreja de São João de Alporão]があります。ここには[芸術と考古学博物館\[Núcleo Museológico de Arte e Arqueologia\]](#)

(4)がありますが、現在は非公開となっており外側を眺めるのみとなります。この建物は「ゴシックの宝庫」とも呼ばれるサンタレンに多く見られるゴシック様式のモニュメントの一つです。ゴシック様式が段階を経て培われていった様子を鑑賞することができます

。



Igreja de São João de Alporão - Santarém © Shutterstock | StockPhotosArt

次に訪れるのは、フランボワイヤン様式の[グラーサ教会\[Igreja da Graça\]](#)

(2)です。主玄関と壮大な円花窓にその特徴をはっきりと見ることができます。中に入るには幾つか段差を降りなければならないので、介助が必要ですが、内部はゆったりとしていて障害物もありません。この教会には1500年にブラジルを発見したペドロ・アルヴァレス・カブラル[Pedro Álvares Cabral]の墓があり

ます。その隣には、カブラルがしば

らくの間住んでいたと思われる家があります。この家は後にカーサ・ブラジル(ブラジルの家)[Casa Brasil](3)となりました。ここ(中に入るには介助が必要です)は2国間の繋がりを想起させる造りになっており、さまざまなアクティビティの文化プログラムを提供しています。プログラムへの参加をご希望の場合は事前にご予約ください(特別な支援が必要な方に合わせて実施します)。



Igreja da Graça - Santarém © José Manuel

すぐ近くには、[サンタ・マリア・デ・マルヴィラ教会\[Igreja de Santa Maria de Marvila\]](#)

(6)があります。ここは12世紀にテンプル騎士団が設立した教会で、16世紀の美しいゴシック様式の玄関口が特徴です。入り口に段差が一段あるので中に入るには介助が必要です。内部は17世紀の装飾美術の多様なタイルパネルに包まれています。



Praça Sá da Bandeira - Santarém © Shutterstock | StockPhotosArt

セルパ・ピント通り[Rua Serpa Pinto]に沿って進み、[バンデイラ広場\[Praça Sá da](#)

Bandeira](8)まで行きます。ここでは、現在はサンタレン大聖堂となっている [ノッサ・セニョーラ・ダ・コンセイソ教会\[Igreja de Nossa Senhora da Conceição\]\(9\)](#)(神学校[Igreja do Seminário]としても知られています)を訪れます。マニエリスム様式の礼拝所入り口には一続きの階段がありますが、体の不自由な方は傾斜台から教区博物館[Museu Diocesano]に入ることができます。中の空間は広く、障害物も少々ある程度です。バロック様式が多く見られます。 [ノッサ・セニョーラ・ダ・ピエダージェ教会\[Igreja de Nossa Senhora da Piedade\]](#) (7)も同じ広場にあります。ギリシャ十字の形をした集中型の間取りとなっており、アクセシビリティに完全対応しています。



1月31日通りを進むと、13世紀に設立されたゴシック様式の建築物、 [サン・フランシスコ修道院\[Convento de São Francisco\]](#) (10)が見えてきます。傾斜台を使用すれば誰でも入場できますが、内部は広いものの様々なところに障害物があります。さらに少し行くと、 [サンタ・クララ教会\[Igreja de Santa Clara\]](#) (11)があります。正面にドアがないのがこの教会の建築的特徴で、傾斜台のついた通用口からのみ中に入ることができます。こちらもゴシック様式の教会ですが、より質素なスタイルであるため「托鉢のゴシック」として知られています。そしてここがプランの終着点です。サンタレンの街の終わりです。